



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん
北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

月例調査レポート



長野市 戸隠キャンプ場

戸隠連峰の裾野に広がる国内屈指のキャンプフィールド。標高1,200mの高原のキャンプ場は、密を避ける、コロナ禍のレジャーとして賑わっていました。牧場の動物とも触れ合え、ファミリーにも人気のキャンプ場は、1区画が広めで隣のサイトを気にせず、キャンプ道具を披露するには絶好の場所。さながらアウトドア用品の展示会場みたいな光景でした。

- 長野しんきん 月例調査レポート 2
- 企業アンケート コロナ禍における「企業経営」Ⅱ-③ 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン 8
- 北信濃 明治時代の風景(6) 城山から南方を見た図 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



概況 全産業

生産は3カ月ぶりの上昇 前年同月比は2カ月ぶりの上昇

◇2022年6月の長野県鉱工業指数

(速報：季節調整済指数)

生産は117.7(前月比+7.4%)で3カ月ぶりの上昇、出荷は123.3(同+5.1%)で3カ月ぶりの上昇、在庫は115.4(同+4.1%)で4カ月ぶりの上昇となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は120.9(前年同月比+1.4%)で2カ月ぶりの上昇、出荷は128.0(同+0.7%)で2カ月ぶりの上昇、在庫は114.0(同+19.0%)で9カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移
(2015年=100/資料：長野県)



- [生産] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、電気機械、情報通信機械など12業種
低下…化学、木材・木製品、紙・紙加工品など4業種
- [出荷] 上昇…その他、輸送機械、電気機械など11業種
低下…情報通信機械、はん用・生産用・業務用機械、木材・木製品など6業種
- [在庫] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械、電子部品・デバイスなど8業種
低下…化学、電気機械、紙・紙加工品など8業種

月例調査

全産業の「売上高」は横ばい

前回調査 2022年6月

◇8月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(39

%)が横ばい、「減少」割合(27%)が1割減少、「不変」割合(35%)は1割増加、全体としては横ばいの状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↑ 増加 → 不変 ↓ 減少
🔄 改善 ⇄ 不変 📉 悪化

業種	前回	今回	前回	今回	前回	今回	改善/悪化	調査対象数	回収率	30人未満	30人以上
全産業	38.1	38.5	34.0	35.0	27.9	26.5	改善	197社	86.4%	73.6%	26.4%
製造業	44.8	44.8	26.8	26.8	28.4	28.4	不変	200社	87.7%	74.5%	25.5%
建設業	31.7	31.7	44.5	44.5	23.8	23.8	改善	67社	82.7%	65.7%	34.3%
卸小売業	25.0	25.0	40.9	40.9	34.1	34.1	悪化	63社	88.7%	87.3%	12.7%
サービス業	50.0	50.0	37.5	37.5	12.5	12.5	改善	44社	91.7%	86.4%	13.6%
輸送業	50.0	50.0	30.0	30.0	20.0	20.0	改善	8社	100.0%	87.5%	12.5%
外食業	87.5	87.5	0.0	0.0	12.5	12.5	悪化	10社	100.0%	20.0%	80.0%
								8社	80.0%	37.5%	62.5%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」一般機械・自動車部品・精密機械が増加するも、全体は横ばい

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(45%)が2割減少、「減少」割合(28%)が3割増加、「不変」割合(27%)が横ばいで、全体として横ばいの状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	47.0	27.2	25.8
	今回	増加 44.8	不変 26.8	減少 28.4
食料品		33.3	33.4	33.3
金属加工		36.4	27.2	36.4
一般機械		60.0	20.0	20.0
電気機械		-0.0	40.0	60.0
自動車部品			100.0	0.0 0.0
精密機械		50.0	50.0	0.0

[業種別] 増加…一般機械・自動車部品・精密機械

減少…食料品・金属加工・電気機械

[機械稼働] (前回比)稼働率 下降

上昇割合 (33%) → 18%

下降割合 (3%) → 10%

[受注状況] 受注量(前回比) 下降

増加割合 (22%) → 15%

減少割合 (11%) → 15%

受注残高(1.9ヵ月) → 1.7ヵ月

[受注基調] (前回比) 下降

上昇割合 (29%) → 12%

下降割合 (12%) → 18%

企業からのコメント

★相変わらず部材の入荷が困難で、納期の延伸状態が続いている。その影響で発注は先送りになり、工程計画が立たず売上げが不安定になっている。今後のコロナの動向が心配である。(液晶関連装置)

☆「善光寺御開帳」の開催で、味噌が売れて品薄になり増産中。“人流の制限”がないので、品物は活発に動いているように思われる。(味噌)

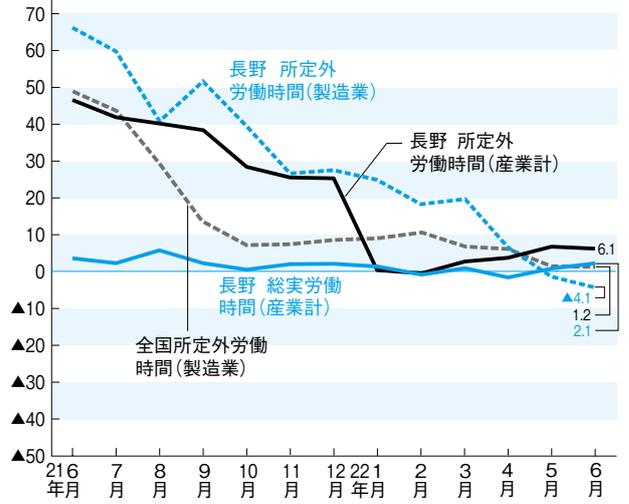
★新型コロナの感染拡大によって、従業員の長期欠勤が増加。そのため、生産工程で予測不可能な状況が発生、対応に苦慮している。(木製建具)

☆★自動車業界の生産は回復傾向にあるが、いまだに“半導体不足”と“コロナ禍”における部品の供給不足が見られ、フル生産の状態になっていない。(自動車部品)

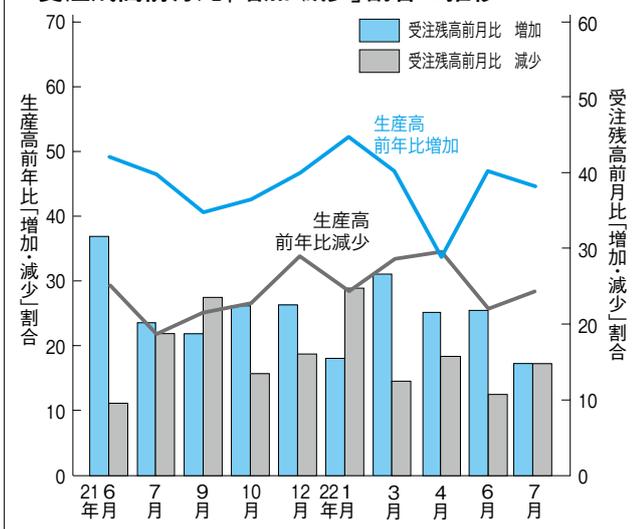
★原材料・燃料費・電気代などが値上がりしても、価格改定が出来ず、利益面を圧迫。一日も早いウクライナの平和的解決を切に願う。(乾そば)

●長野県の労働時間の動き(前年同月比)

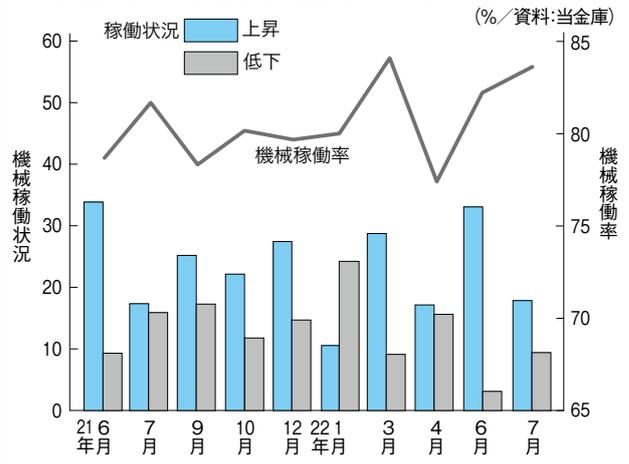
規模30人以上(%)資料:長野県・厚生労働省



●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(%)資料:当金庫



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移(%)資料:当金庫



建設業 総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」全業種で増加し、全体も増加

概況

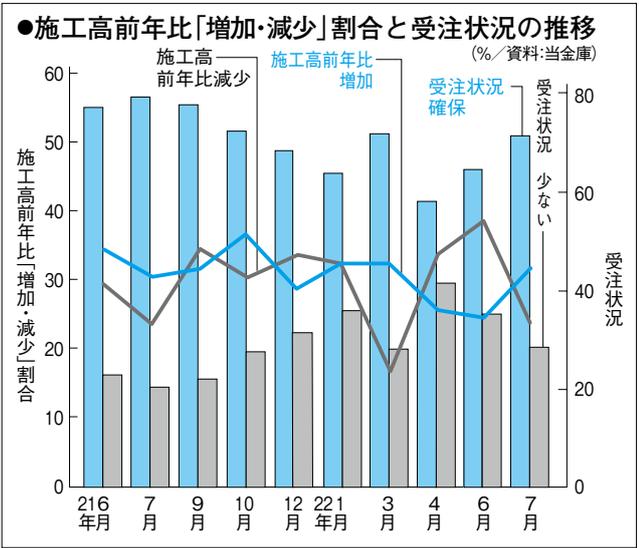
建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(32%)が7割増加、「減少」割合(24%)が15割減少、「不変」割合(45%)が8割増加、全体としては増加の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	24.6	36.9	38.5
	今回	増加 31.7	不変 44.5	減少 23.8
総合建設業		36.4	54.5	9.1
土木工事業		33.3	41.7	25.0
建築業		28.6	47.6	23.8
各種設備業		40.0	40.0	20.0

【業種別】 **増加**…総合建設・土木工事・建築
各種設備

【受注状況】 受注残高(前回比) **改善**
「多い・適正」割合 (65%) → **71%**
「少ない」割合 (35%) → **29%**



企業からのコメント

- ★建設資材の値上げに続き、下請け協力会社の人件費(作業員外注費)も上昇傾向にある。
- ★“コロナ禍”のため、見学会や感謝祭の開催が出来ず、業界の販売手法に変化が出ている。
- ★碎石や生コン等をはじめ資材一式が値上がり。また、納入時期の遅延も発生し、最終的な工期や納期にも影響が出ている。(以上総合建設業)

7月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4月～7月の発注合計は、1,019.1億円(前年同期比▲22.4%)となりました。「国」の174.4億円(同▲43.9%)、「県」の321.7億円(同▲7.5%)、「市町村」の292.6億円(同▲1.4%)、「その他」の224.4億円(同▲36.4%)と、全てマイナスでした。

北信地区市町村の発注合計は78.2億円(同+27.1%)で、うち長野市は38.2億円(同+72.5%)でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2022年7月/2022年4月～7月累計)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証㈱)

		2022年7月	前年同月比	2022年4月～7月	前年同月比
長野県	国	2,962	▲69.9%	17,442	▲43.9%
	県	4,559	▲34.5%	32,173	▲7.5%
	市町村	6,968	+19.3%	29,263	▲1.4%
	そのほか	1,074	▲2.1%	22,442	▲36.4%
	合計	15,604	▲34.3%	101,914	▲22.4%
北信地区	市町村	2,017	+129.3%	7,816	+27.1%
	(内長野市)	1,453	+112.5%	3,823	+72.5%

4～7月の新設住宅着工戸数

長野県の4～7月の新設住宅着工戸数は3,953戸(前年同月比▲5.1%)でした。持家が2,271戸(同▲12.3%)、貸家が1,056戸(同+3.4%)、分譲が619戸(同+12.5%)、給与が7戸(同+40.0%)です。

北信地区の4～7月の新設住宅着工戸数は977戸(同▲22.8%)でした。持家が617戸(同▲13.5%)、貸家が208戸(同▲40.1%)、分譲が150戸(同▲26.8%)、給与が2戸(同+100.0%)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数(2022年7月/2022年4月～7月累計)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	7月	163戸	104戸	46戸	0戸	313戸
	(内長野市)	113戸	104戸	31戸	0戸	248戸
	前年同月比	▲1.6%	+12.8%	+44.1%	—	+7.5%
	(内長野市)	▲19.3%	+73.3%	+14.8%	—	+9.3%
	4～7月	617戸	208戸	150戸	2戸	977戸
前年同月比	▲13.5%	▲40.1%	▲26.8%	+100.0%	▲22.8%	
長野県	7月	559戸	284戸	140戸	0戸	983戸
	前年同月比	▲17.1%	▲18.9%	▲26.8%	皆減	▲15.2%
	4～7月	2,271戸	1,056戸	619戸	7戸	3,953戸
前年同月比	▲12.3%	+3.4%	+12.5%	+40.0%	▲5.1%	

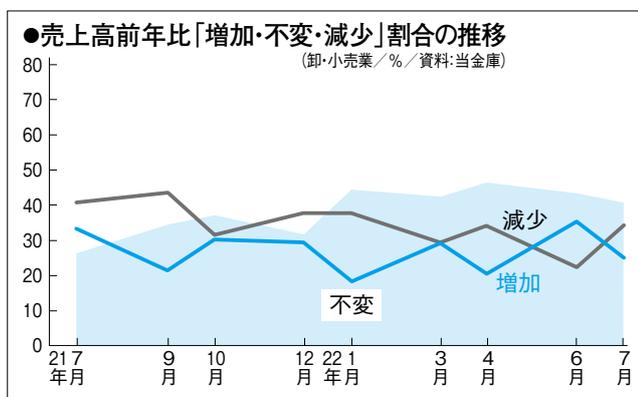
卸小売業 卸売業、小売業

「売上高」卸売・小売ともに減少

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前月に比べ「増加」割合(25%)が10ポイント減少し、「減少」割合(34%)が12ポイント増加、「不変」割合(41%)が2ポイント減少し、全体として売上は減少の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	35.0	42.5	22.5
	今回	増加 25.0	不変 40.9	減少 34.1
卸売業		29.4	41.2	29.4
小売業		22.2	40.8	37.0



【業種別】減少…卸売業・小売業

7月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……103.6(11カ月連続プラス)

(前月比+0.6%、前年同月比+3.7%)

上昇…「燃料・水道」「交通・通信」「教養娯楽」「住居」「食料」「保健医療」

下落…「被服及び履物」「家具・家事用品」

◇生鮮食品を除く総合指数…103.4(12カ月連続プラス)

(前月比+0.5%、前年同月比+3.3%)

企業からのコメント

- ★新型コロナウイルスの感染拡大によって各地のお祭りが中止になり、タオルの売上げが減少傾向にある。(タオル等卸)
- ★長野におけるコロナ感染者の爆発的な増加と酷暑の影響もあって、売上げは減少している。(和洋菓子)
- ☆★物価高の影響で商品単価が上がり、売上げは増加しているが、利益率は下がっている。(飲料・食料品小売)
- ☆猛暑の影響で、エアコン・冷蔵庫など夏物商品の売上げは好調だった。(家電小売)
- ★スポーツイベントの相次ぐ中止が、売上げのブレーキになっている。(スポーツ用品)

サービス業 サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービス・輸送は増加、外食は減少

サービス業 売上高前年比「増加」割合は36ポイント増加の50%、「減少」割合は2ポイント減少の13%、「不変」割合は34ポイント減少の38%と、売上げは増加の状況です。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は6ポイント増加の50%、「減少」割合は2ポイント減少の20%、「不変」割合は3ポイント減少の30%と、売上げは増加の状況。タクシーは横ばい、運輸は増加です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は3ポイント減少の88%、「減少」割合は3ポイント増加の13%、「不変」割合は横ばいの0%と、売上げは減少の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比18ポイントの減少ですが、前年同月比は35ポイントの増加で、宿泊利用は伸びています。

不動産業 需給状況は前月に比べ、「双方手控え・どちらも低調」が28ポイント減少の22%、「引合いやや増加」が10ポイント減少の0%でした。

企業からのコメント

- ☆★季節的要因で飲料などの輸送量は増えているが、仕入価格の上昇により収益面は厳しい。(トラック)
- ★長野市内の特に需要があるエリアにおいては、土地の価格が上がり続けている。(不動産)
- ☆コロナの感染者は増加しているが、行動制限がないので土日の来店客数は多くコロナ前に戻ったような状況。特に若者が増加している。(そば)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	14.3	71.4	14.3
	今回	増加 50.0	不変 37.5	減少 12.5
輸送業	前回	44.4	33.4	22.2
	今回	50.0	30.0	20.0
うちタクシー業		100.0		0.0
うち運送業		28.6	42.8	28.6
外食業	前回	90.0	0.0	10.0
	今回	87.5	0.0	12.5

企業活動における直近の最重要リスク

「原材料や資源価格の高騰」62% 「コロナ感染症の長期化」16%
 「人手不足」9% 「サプライチェーンを巡る課題」4%

今後、政府に重点的に取り組んでほしい施策

「資源価格安定等の経済政策」64% 「コロナ関連の経済政策」13% 「財政健全化策」6%

企業活動における直近の最重要リスク 「原材料や資源価格の高騰」は62%、「コロナ感染症の長期化」は16%、「人手不足」は9%、「サプライチェーンを巡る課題」は4%、「国際情勢の変化」は2%、「為替変動や株価等の金融資本市場の混乱」と「自然災害」はそれぞれ1%となりました。

今後、政府に重点的に取り組んでほしい施策 「資源価格安定等の経済政策」は64%、「コロナ関連の経済政策」は13%、「財政健全化策」は6%、「新型コロナウイルス感染症のまん延防止策」は4%、「防災等国土強靱化策」は3%、「DX推進への支援」と「国際秩序の維持・強化策」はそれぞれ1%となっています。

企業活動における直近の最重要リスク

「原材料や資源価格の高騰」62%
 「コロナ感染症の長期化」16%
 「人手不足」9%
 「サプライチェーンを巡る課題」4%
 「国際情勢の変化」2%

「企業活動において、直近の再重要リスクと考えられるものは何か」を聞きました。

「原材料や資源価格の高騰」は62%、「コロナ感染症の長期化」は16%、「人手不足」は9%、「サプライチェーンを巡る課題」は4%、「国際情勢の変化」は2%、「為替変動や株価等の金融資本市場の混

乱」と「自然災害」はそれぞれ1%となっています。

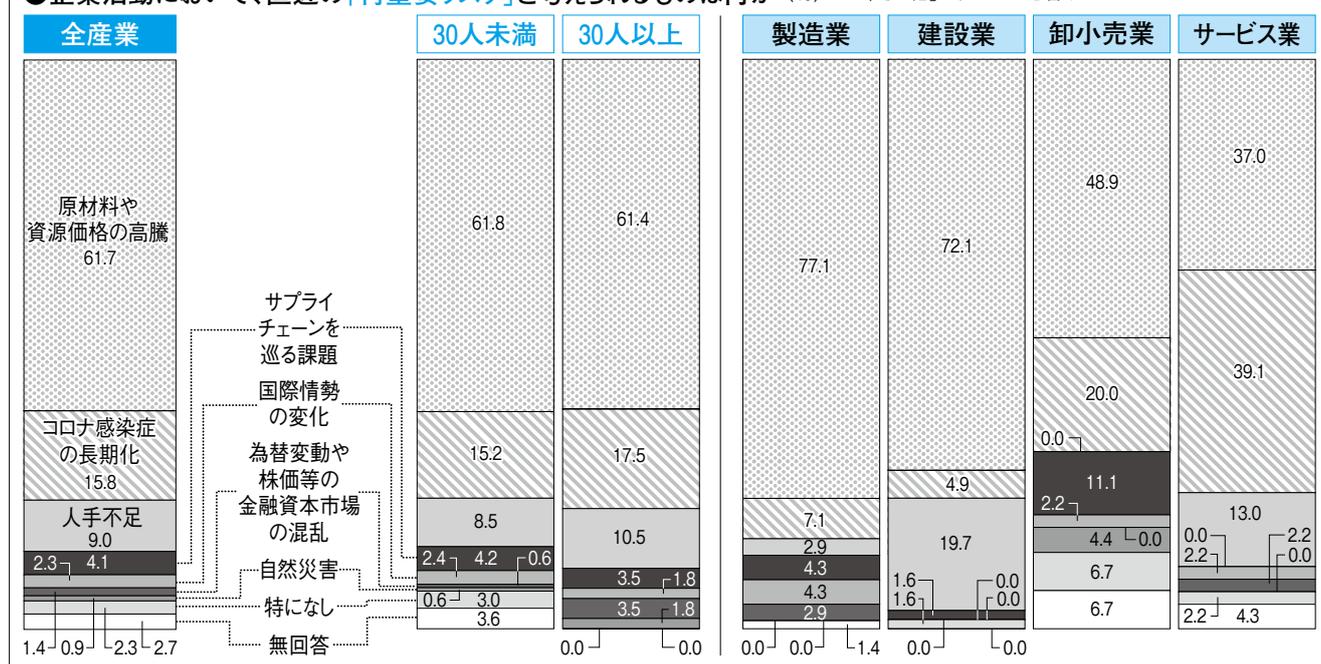
従業員規模で見ると、30人未満は「サプライチェーンを巡る課題」と「国際情勢の変化」がそれぞれ1割、30人以上より高くなっています。30人以上は「為替変動や株価等の金融資本市場の混乱」が3割、「コロナ感染症の長期化」と「人手不足」が2割、「自然災害」が1割、それぞれ30人未満より高くなっています。

業種別

製造—3項目でトップ

◇4業種の状況

●企業活動において、直近の「再重要リスク」と考えられるものは何か (%) ※「その他」は、0%につき省く



製造業 「原材料や資源価格の高騰」(77%)、「国際情勢の変化」(4%)、「為替変動や株価等の金融資本市場の混乱」(3%)は4業種中トップで、「サプライチェーンを巡る課題」(4%)が2番目です。

建設業 「人手不足」(20%)はトップで、「原材料や資源価格の高騰」(72%)が2番目です。

卸小売業 「サプライチェーンを巡る課題」(11%)と「自然災害」(4%)はトップで、「コロナ感染症の長期化」(20%)と「国際情勢の変化」(2%)が2番目です。

サービス業 「コロナ感染症の長期化」(39%)はトップで、「人手不足」(13%)と「為替変動や株価等の金融資本市場の混乱」(2%)、「国際情勢の変化」(2%)が2番目となっています。

防止策」(4%)、「防災等国土強靱化策」(3%)などとなりました。

従業員規模で見ると、30人未満は「コロナ関連の経済政策」(14%)が5割、「財政健全化策」(7%)が6割、30人以上より高くなりました。30人以上は、「資源価格安定等の経済政策」(70%)が8割、30人未満より高くなっています。

業種別

7つの施策が「平均的に選択」される

◇4業種の状況

製造業 「資源価格安定等の経済政策」(83%)と「DX推進への支援」(3%)、「国際秩序の維持・強化策」(3%)はトップとなりました。

建設業 「防災等国土強靱化策」(10%)はトップで、「資源価格安定等の経済政策」(71%)と「DX推進への支援」(2%)、「国際秩序の維持・強化策」(2%)が2番目となっています。

卸小売業 「財政健全化策」(18%)はトップで、「コロナ関連の経済政策」(16%)と「新型コロナウイルス感染症のまん延防止策」(4%)、「防災等国土強靱化策」(2%)が2番目となっています。

サービス業 「コロナ関連の経済政策」(26%)と「新型コロナウイルス感染症のまん延防止策」(11%)はトップで、「財政健全化策」(7%)が2番目となっています。

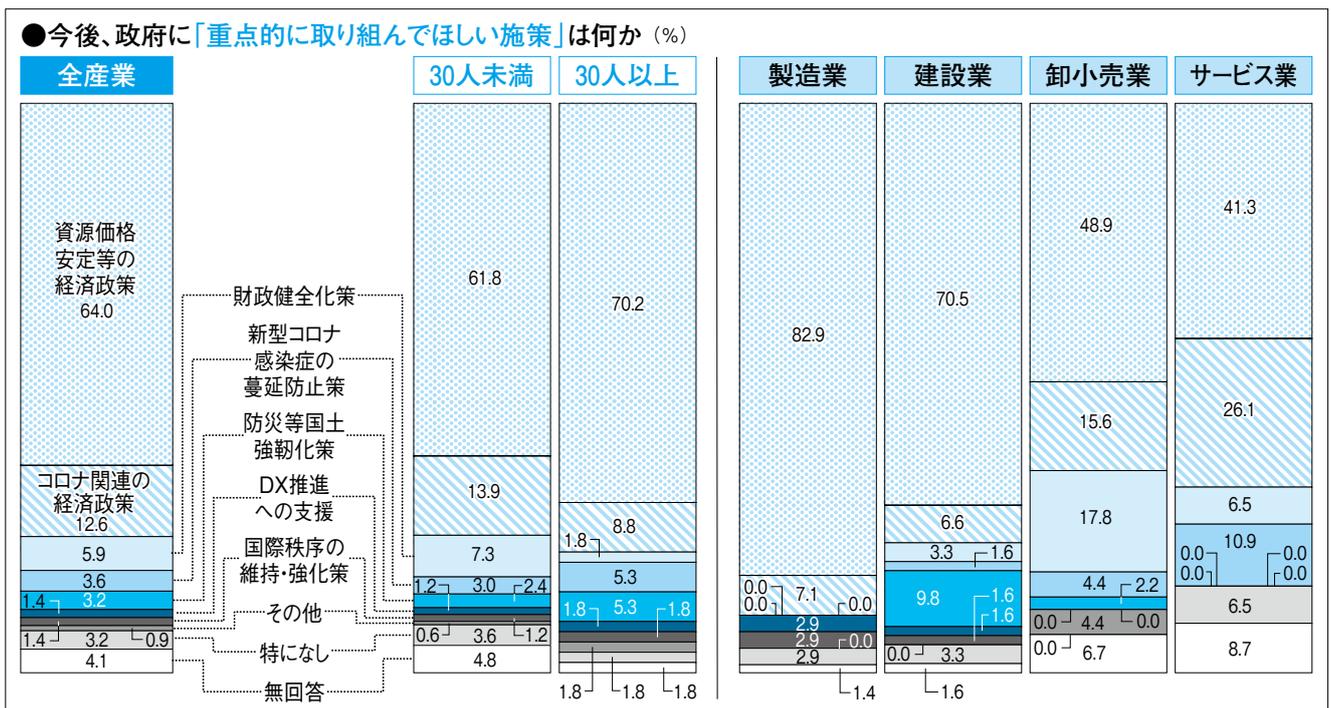
◇次号は「環境に配慮した企業経営に関するアンケート」を予定

今後、政府に重点的に取り組んでほしい施策

- 「資源価格安定等の経済政策」64%
- 「コロナ関連の経済政策」13%
- 「財政健全化策」6%
- 「新型コロナウイルス感染症のまん延防止策」4%
- 「防災等国土強靱化策」3%

「今後、政府に重点的に取り組んでほしい施策は何か」を聞きました。

「資源価格安定等の経済政策」(64%)が断然トップで、以下「コロナ関連の経済政策」(13%)、「財政健全化策」(6%)「新型コロナウイルス感染症のまん延





お客様と“生涯を共に” そんな企業にしたい…

ダスキンプランチャイズチェーン加盟店
有限会社 ダスキンイチバン
代表取締役 菅沼 ^{とむら}亨さま

●創業の経緯についてお聞きします…

私の祖父・菅沼秀行は、ダスキン創業者の故鈴木清一会長の経営理念に感銘を受け、地元のバス会社を退職し、1971年(昭和46)、ダスキンにフランチャイズ加盟し事業を開始、祖父から父へそして私へと引継ぎ現在に至っています。

創業当時、一般家庭の掃除といえば“雑巾とほうき”で、掃除機が普及していない時代に、主婦に「雑巾を借りる」という考えを理解していただくことはとても難しく、周囲からは、「そんな事業は成功するはずがない」と言われていたそうです。

しかし、祖父は、これからの時代は主婦の生活スタイルが大きく変わるだろうから成功すると信じ、「黄色い掃除用の雑巾」のレンタルからスタートしました。地域のお宅をこまめに訪問していくうちに主婦が社会に進出するようになり、女性から徐々に支持を受け、お客様を増やし、ダスキンの主力商品であるマット・モップのレンタル事業「クリーンサービス」へと発展させました。

1992年(平成6)、父・雄一郎(現会長)が代表権を譲り受け、「ハウスクリーニング事業部」を立ち上げ、事業を展開させました。

●社長になられた経緯についてお聞きします…

私は、子どものころから医療の道に進むという夢があり、医療系の大学を卒業しました。人工透析装置・人工心肺装置・人工呼吸器などの医療機器を専門に扱う「臨床工学技師」の国家資格を取得して、長野市の総合病院で医療従事者として勤

務していました。しかし、幼いころから祖父と父の働く姿を見ながら、家族の誰かが将来的に家業を継ぐのだろうとも思っていました。

ある時、ダスキンイチバンのお客様感謝イベントへ従業員の皆様に挨拶をしようと伺った際、皆様が楽しそうに、笑顔で仕事を行っている姿を見て、「こういう環境で仕事をしたい」と強く思い、ダスキンのことを学び2016年(平成28)に(有)ダスキンイチバンに入社しました。

祖父が父に代表権を渡したのは65歳のときでしたから、父も65歳になったら継承しようと決めていたらしく、入社から6年目の2021年(令和3)、私は33歳で代表取締役に就任しました。

「若いですね」と言われますが、私より若い経営者は大勢いますので、年齢のプレッシャーはありません。しかし、4年前に介護事業の「ヘルスレント」を始めてから管理者店長を任されていたため、ほかの事業に携わった期間が短く、経験不足の中での代表就任でしたから大変であり不安もありました。新たな介護事業を行う上で、前職の医療現場の知識が役だっていますし、それを評価していただいて仕事を受注することもありました。

●業務の概要についてお聞きします…

ダスキンは、モップ・マット・浄水器・空気清浄機などの掃除用品のレンタルや販売を行う「クリーンサービス」をメインに、エアコン・お風呂などの掃除を行う「メリーメイド」と、福祉用具のレンタルや介護用品の販売を行う「ヘルスレント」の3つの事業があります。

ほかの業者とは違い、複合的なサービスの提供が出来ることが強みだと思っています。一軒のお宅の“生活の支援”が出来ることです。

●コロナ禍の影響についてお伺いします…

当社の全ての事業において、お客様のお宅に入らなければならない、当初は、お客様に抵抗があり、思うような営業や訪問が出来ない状態で

した。しかし徹底した感染対策をした上で訪問することで、徐々にお客様の考え方が変わってきました。売上げは「ハウスクリーニング」が一時的に落ちましたが、クリーニングが出来ないことによって、逆にダスキンの良さを感じていただけたと思っています。

コロナ禍になって、衛生面が気になるお客様が多くなり、その周辺の提案もさせていただ



クリーンサービス事業



ハウスクリーニング事業

ています。

●今後の夢や方針などをお聞かせください…

私の入社したきっかけは、従業員の皆さんが楽しそうに仕事をしている姿を垣間見たことからだったので、今よりさらに、楽しく業務が出来る環境を作りたいと考えています。

また、お客様には「生涯ダスキンを利用していただきたい」と思っています。子育て世代の方がお掃除をする時間がないときには「クリーンサービス」や「ハウスクリーニング」を利用いただき、高齢になれば「ヘルスレント」を利用させていただく。そのようにして、一軒のお客様のお宅と末長くお付き合いできればと考えています。



ヘルスレント事業

●事業の概要

設立 1971(昭和46)年
 資本金 300万円
 代表者 菅沼 亨
 従業員 15名(男2名・女13名)
 業務 生活関連サービス業
 所在地 長野市柳原2222-4

●沿革

1966(昭和41)年 菅沼秀行が個人で創業
 1971(昭和46)年 法人成り
 1992(平成6)年 菅沼雄一郎が代表取締役に就任
 2021(令和3)年 菅沼亨が代表取締役に就任

北信濃 明治時代の風景



(6) 城山から南方を見た図

長野郷土史研究会会長

小林 一郎

今年度は、明治10年代に各町村が長野県に提出した町村誌に描かれた挿絵を紹介します。今回は明治15年(1882)ころできた『長野町誌』の、「其二 南望之図」の左半分です。

山と川

善光寺東側の城山にある、健御名方富命彦神別神社(水内大社・城山県社)から南方を見た景色です。

遠方には右端の「冠着山」(1252m)から左端の「四阿山」(2354m)まで、山々が連なっています。その下には善光寺平(長野盆地)が広がっています。千曲川と犀川が合流し、大河となって左方に流れていきます。

北信の4郡

「水内郡」「高井郡」「埴科郡」「更級郡」の4郡は、

主に千曲川と犀川によって区切られています。「水内郡」が上水内郡と下水内郡に、「高井郡」が上高井郡と下高井郡に、それぞれ分かれたのは明治12年(1879)のことですが、ここにはまだその区分が描かれていません。

高井郡と埴科郡の境は、「松代」から山(鳥打峠)を隔てた左手(東方)にある大室地区です。大室村は「保科」村などと同じく高井郡に属していましたが、明治12年からは上高井郡大室村となりました。ところが明治22年(1889)に近隣の村々が合併して埴科郡寺尾村が発足した時、大室地区もその一部となりました。これにより大室地区は埴科郡に変わりました。

川中島古戦場

ここ城山は、川中島古戦場を遠望できる場所と



「長野町誌」(長野県立歴史館蔵)より

して知られていました。この図でも、「妻女山」「八幡原」「典厩寺」「山本墳」「諸角墳」といった川中島合戦の史跡が表示されています。

八幡原

「松代」と千曲川を隔てた対岸(北側)にある「八幡原」(長野市小島田町)は、永禄4年(1561)の合戦で武田信玄が本陣を置いた場所と伝えられています。八幡社がまつられているため「八幡原」と呼ばれていて、一帯は長野市により「八幡原史跡公園」として整備されてきました。

ところが「八幡原」の名称が分かりづらいということで、平成29年に名称が「川中島古戦場史跡公園」と改められました。

典厩寺

長野市篠ノ井杵淵にある曹洞宗の寺院で、武田信玄の弟、信繁の墓があります。信繁は永禄4年の合戦で副将として戦い、討ち死にしました。信繁は左馬助であったことから、唐名(中国風の官名)で典厩てんきゆうと呼ばれていました。それが寺号となっているのです。

山本勘助の墓

「八幡原」の近くに「山本墳」とあるのは、武田信玄の軍師ともいわれる山本勘助の墓です。勘助は永禄4年の合戦で、作戦に失敗した責任を取って、奮戦して討ち死にしたと伝えられています。その墓は、松代町柴の千曲川の河川敷にあります。そこは八幡原の対岸です。千曲川では寛保2年(1742)に戌の満水と呼ばれる大洪水があり、その後千曲川の流路が変更されました。この時八幡原と山本勘助の墓との間に千曲川が流れるようになり、両者が川を隔てることになってしまったのです。

諸角豊後守の墓

「八幡原」や「典厩寺」の右下(北西)に「諸角墳」とあるのは、長野市稲里町下氷鉦にある諸角豊後守もろすみの墓です。諸角豊後守は信玄の重臣で、やはり永禄4年の合戦で討ち死にしました。地元の方々は「もろずみさん」と呼んで親しみ、諸角講を作って



城山に残る「明治天皇駐蹕之処」の碑

守ってこられました。

遊郭

図の下段左方に長方形に区切られた家屋の密集した地区は、明治11年(1878)に開設された長野遊郭です。上部に「遊里」と書いてあります。鶴賀新地とも呼ばれ、現在の長野市東鶴賀町にありました。西側に大門があり、そこから東に1本道が伸びています。これは新設された権堂町から遊郭に至る道路で、現在の権堂アーケード通りの原型です。当初は町からの距離を稼ぐためにわざと曲がっていましたが、やがて直線に改修されました。

行在所

図の右下に描かれた「行在所」とある建物は、明治11年の明治天皇の巡幸に合わせて新設された行在所の建物です。明治天皇は9月8日に長野にお入りになり、翌9日の午後2時ころから城山の行在所で眺望を楽しまれました。あいにくの雨模様でしたが、地元民は昼間の花火を打ち上げて歓迎しました。この行在所は、明治天皇がここから眺望を楽しまれて、「佳郷、佳郷」と仰せになったということから「佳郷館」と名付けられましたが、明治24年の火災で焼失してしまいました。

10月号は「城山から東方を見た図」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)

◆諸物価上昇の対策として、家計で一番「節約」していること

「趣味・娯楽費」27% 「食費」23% 「服・靴・アクセサリ」22%

物価上昇の対策として「どの項目を一番に節約を考えているか」を聞きました。

トップは「趣味・娯楽費」で27%、2位は「食費」で23%、3位は「服・靴・アクセサリ」で22%でした。

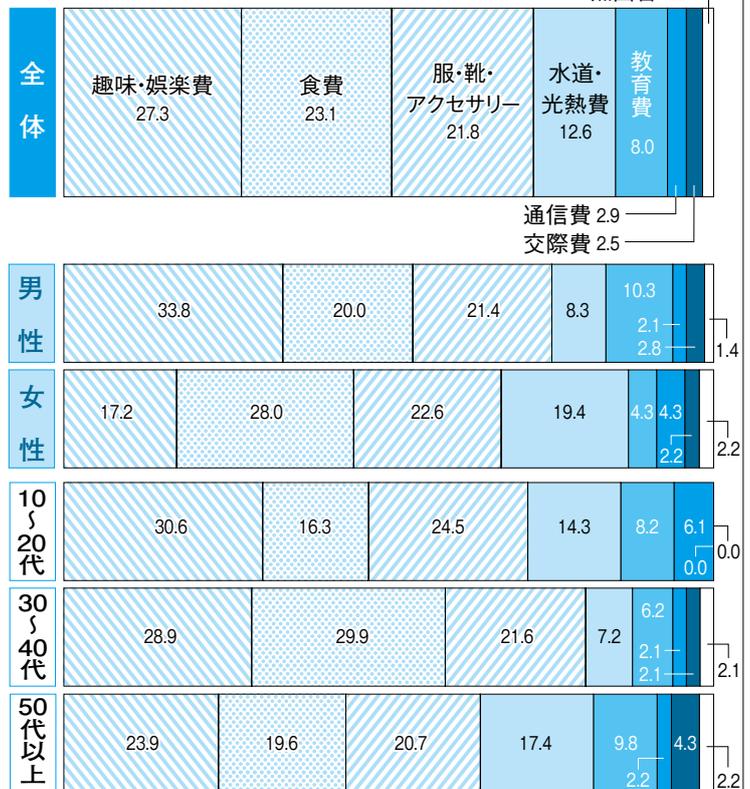
男女別で上位を見ると、男性は全体と比べ、2位の「服・靴・アクセサリ」と3位の「食費」が入れ替わり、女性は、全てが入れ替わっています。

世代別で上位を見ると、10～20代は全体と比べ、2位の「服・靴・アクセサリ」と3位の「食費」が入れ替わり、30～40代は、トップの「食費」と2位の「趣味・娯楽」が入れ替わり、50代以上は、2位の「服・靴・アクセサリ」と3位の「食費」が入れ替わっています。

〈当金庫・2022年6月調査〉

●家計で「どの項目を一番に節約」を考えているか(%)

※「その他」は、0%につき省く 無回答 1.7



●みなさまの税務相談のご案内 [10月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
10月 4日	火 長池支店 (大豆島支店)		10月19日	水 権堂支店 (善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)
6日	木 若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	21日	金 中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
12日	水 稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	24日	月 飯綱支店	大門町支店 (桜枝町支店)
13日	木 石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	25日	火 本店営業部	古里支店 (吉田支店)
14日	金 須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店	26日	水 本 部	
18日	火 篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)	28日	金 本 部	

